

平成 28 年 9 月 7 日

全日本オリエンテーリング大会プロデューサー就任について（追記 1）

（有）ヤマカワオーエンタープライズ

山川克則

一昨日やっと公開した本案は、今週土曜日（9月10日）に日本学連の幹事会（私は7人リレーの準備で出席できない、木村 JOA 業務執行理事&学連理事（本件 WG 座長、常設実行委員会委員長）が出ることになりました）の資料として提示しないことには組織として話にならないというところから、下手な文章ながらもそのまま出したものでありました。たった1日でも聞こえてくる内容を精査したところ、現行の JOA の 20E 規則では、ステップアップの融合どころではなく今の学生の現状にはそぐわないものであって、これでは幹事会で話し合うたたき台にもならないと私なりに判断するに至りました。一旦 20E に関する提案はいったん全面撤回します。但し、**JOA のステップアップの規則と、学連の同規則がお互いに絡み合い、同じ方向を向いて進んでいく**、というのは、すごく良い案で、基本構想としては多くの賛同が得られるものと思っています。全日本大会の改革には、その前提となる**公認大会の改革**も必須です。公認大会が、学連の予選となるようしっかりとする仕組みづくりができれば（そのためには 20E 周辺の大幅な見直しが必要でしょう）、そしてまたインカレで得た成績が公認併催とかそうでないとかに関わらず（そもそも学連加盟員は今では全員 JOA 選手登録者なのでから）、全日本・公認大会の選抜クラスに出場できる仕組みができれば、そういった相互に関わる仕組みができれば、お互いの大会の活性化には大きく寄与することでしょう。その仕組みづくりは、**JOA 競技委員会と学生の代表との膝付き合わせた協議会**を開催するのがよいと思いますので、まずそれを提言しておきます。

それで、幹事会で話し合う為の**現実的なたたき台案**を提示します。全日本大会の継続の為には1回でも欠かすことのできない今は緊急事態、即効性のある策としては、セレとの融合がただ一つの手、という立ち位置は変わりません。（それより良い案のある方は出てきてご披露下さい）但しこれも前資料を撤回して、今回限りの経過措置とします。1年無い中での実行は広報不足を責められるかもしれませんが、ここは本当に“お願い”です。緊急事態なのです。（本当にお願ひするのは案を出した私ではなく、JOA 中の人だと思います。例によってヤマカワが何とかするんでしょ、と他人事ですますのは結局ここ数年ずっと言われている JOA 周りの問題を何も解決しません。そしてそれは早晩学生の環境にも多大な悪影響になることが私には見えているから、ここで中に入って解決の糸口を模索しているのです。）主に学生用の資料ですので、すみませんがここの論展開だけはかなり細かいところまで書いています。

1. 21E に関しては前提案通り、JOA 現行規定はミドル・ロング一緒というのはありますが、3月末までの公認大会で全日本 21E 出場権を獲得したら、その選手は全日本大会 21E に出場いただき、セレ免除

→現状インカレ選手権対象者ですでに全日本 21E 権取得者はゼロ<現在より遡っての基準適用はない>

→現状全日本予選である公認大会 21E 出場資格保有の対象者 7or8or9 名(4年生 3年生か調べ切れていない)が公認 21E で資格獲得、それと公認 21A で 21E 出場資格獲得してその2ヵ月後以降の公認 21E で、全日本 21E 出場資格獲得したものがセレ免除者となる。現状対象者として名が挙がっている人は学生の間では十分に速いことで名が知れている選手、しかしその対象選手でも、公認 21E クラスで全日本 21E 出場権を獲得するにはかな

りのハードルの高さであると思われ、十分にセレ免除に値する。(この7月の公認札幌大会での学生獲得者は男女ともゼロで、東大竹内君の成績が最善だが、それでもまだかなりのハードル)

尚、公認21Eの昇格基準だが、公認BカテゴリでM10名W5名(公認Aだと倍)昇格という規則ですが、しかし実際には補則の“出場人数の上位半分まで”が優先する場合の方が多そうです。(札幌大会は男女ともこれが適用、今後開催される公認大会でも何も改革しないのならその危惧あり)・・・つまりJOAの思う所まで参加者が21Eでも伸びていない。

2. 20Eに関しては、20Eとセレを同じコースで行うことを提案 2コースになるか3コースになるかまだ読めないけど(これ実は公認セレ免除を言い出す前までのずっとプロデューサ就任前後から考えていた案です)

1コース：<全日本20E><関東セレ1>

2コース：<関東セレ2><東海><関西><中四国>

3コース：<北東><北信越>

21E資格者はセレ免除

20E資格者で関東の者は<関東セレ1>と混ぜて評価

20E資格者で関東以外の者は、この3コースを同等のものとして評価してセレ選出

今回の開催地区の関東以外は2レース制で、一定枠をここで選出、一定枠の割合は居住地と開催地との距離を勘案

(開催地地区学連以外はできるだけそれなりの一定数の枠を遠くても設定して欲しい、そこは地区学連判断)(元々北東と北信越は2レース制)(あともう1レースは合宿併設とか練習会併設とか、OBに過度の負担がかからない形式を想定、大掛かりな大会並の負担でないように、の意味)

コースは出来る限り同等になるように作成、全日本プランナーとのセレプランナーとの共同参画も考慮、

また<関東1のみ><関東2>でも相対評価

グレーゾーンは関東以外の地区の成績もみて、極力拾い上げる方向、定員増員で今回のみ評価、その評価は技術委員会で行う。(予測的にはこれで多分最大5名位救済か? 前年実績枠入れて最大でMUEで70名出場見当、1年限定経過措置)

<この面倒さがまずいかなと思って、公認大会セレ免除策(公認大会も併せて改革策)に切り替えたのですが、20E規定の詳細をみて、こちらの賛同を得る方が余程難しいと思ひ撤退、修正案提言という次第です。20Eに関しては厳しい言葉で表現すると現行のJOA規定は殆ど表現先行、実質半分以下の看板倒れ。かなりの読解力が必要な補則の連続で選手を拾おうとしているが、実際の20E参加者は、それに応えていない状況>

3. 参加費は、学生に関しては前年並み、一般に関しては真に継続可能なレベルまで大きく見直し、ただし今回は5千円までと考えています。但し、JOAの問題はこれ以外にもあって、2/7公布の組織支援金の規定があります。中央の直轄大会なので“組織支援”という言葉はそぐわないのですが、学生も500円位の上乗せ(大会運営会計にではなくて、JOA本会計に行くお金)はご了解いただくことになると思います。今までのWG内の話し合いで、参加費設定はプロデューサマターということは確認されています。実行委員会委員承認が必要だと思ひ

ますが。

さて本件での私の任期は2年です。1年目は緊急事態を何とかする、ということで、どうせヤマカワさんなんでしょ、ということも含みがあったのかどうか私は知り得ませんが、便利屋で終わるのならとりあえず目の前の全日本が救われただけで、ちっとも改革にならないことはご理解いただきたいと思います。

そもそも私は泥かぶり覚悟で、そしてうまくいかなかったらクビ・失脚覚悟で、JOAの中に志願して入って行きました。でないと真の改革はできないという長年の使われ方からの実感です。しかも本件は、ロング種目限定。時期も現行の規定の範囲内（現行規定は年度超えは5月迄です、6月は前例があるのでギリギリ認められるという解釈）、という縛りの中での活動になっています。発言範囲も、常設実行委員会によるガバナンスを受ける立場です。しかも、文章表現は下手ですので、そこは周りの支えが頼りという面も大いにあります。

（ここからは削除要請が来るかもしれない前提で一応書いておきます）

そもそもリソース限られているのに、大会多すぎなんですよ。しかもそれが散発的に行われている現状。重要大会は、きちんとパッケージして、トレインコントロールきちんとやって、財務計画もきちんと立てて、そんなん地方県協会のボランティア活力だけで出来る訳ない（もともと現況では尻込みか？）のに、足りない分を財務ビジョンなしにプロ事業者を便利屋としか扱わない。本当に魅力的な大会は上記のような要件をプロ含めた協業で、そして競技の根幹となる部分は中央の直轄で責任をもってこそ、達成できるものと思っています。全日本ロングも本来の魅力的な姿までいくには、もっと良い時期にもっと良いトレインで、遠征に負担がかからないように、他種目とのコンバインドで行うのが理想なのは誰もが思うことでしょう。しかしそれは、今回私に託された内容ではありません。せめて任期2回目終了後、次への提言という形で残すのがせいぜいでしょう。

この改革は私一人ではできません。（今まで何回かの全日本のようにとりあえず何とかするという事は、多分できるでしょう。それは全日本が今年もあってよかったね、でも何か不満、というレベルでしょうが）私のここでの役割は、JOAの中に入って風通しをよくすること、そしてそこに多くの人々の知恵を集めて本当にみんながオリエンテーリング楽しい！面白い！と思えるような改革のきっかけ人になることだと自分なりに思っています。

ということで上記案は1年限定ということに、シフトチェンジさせていただきました。2年目の案はこうなります。

0. そもそも1年目案が賛同得ず否決された場合、採用要件にある通りクビになります。そのあとは知りません。残った人で何とかすることになります。

a. 山川が言うから、結局付き合わされるのか程度の改革なら・・・原案通りです。この地は私が住民レベルまで、電話一本で話ができる場所です。日本最高レベルのトレインの一つには変わらないですし、トレインの面積、現行の面積をほぼ2倍に拡大という案です。十分に新鮮な新生全日本大会21Eが実現できると思います。

b. いろんな人が賛同し改革の輪の中に加わる、公認大会併せてのテコ入れ改革案が本格的に稼働します。学連とJOAが相互に資格行き来できるような、制度大幅改正にむけて好発進する。（2年目の資格基準は、その議論の中で来年3月までに結論が得られればできるはず）そういう風に、全部が良い方向に動き出すのであれば、30年間プロ事業者をやってきた私が今出せる最高のカード（切り札）を出しましょう。まだその前提となる渉外を

やっていないので、責任もつての発言までではないのですが、そしてプロ事業者の負荷も遥かに大きくなり、私には投資的リスク、西村にはスケジュール調整が利くかという問題もありますが、(九州とかはおいて) オリエンティアが普通にアクセス可能なトレインの中でおそらく最高峰、わが国最高難度と云われているあの憧憬のトレインを(1991 年以來)全日本大会のトレインとして出す用意も考えたいと思います。それも地元協会から JOA への提案という形で。私の郷里の県であるからこそ出来る策なのですが、それは WG からの答申文書にもある通り、ベストな将来像でもあるのです。地元県協会が本当に良いトレイン魅力的なトレインを見つけてきて、中央組織のコーディネータに相談する。それが誘致合戦になるほど全日本は魅力的な大会になる。それにはコンバインドも必須だろうから、人員計画も財務計画もコーディネータやプロ事業者との協業になる。そんな先駆けとしても、あの憧憬のトレインは十分にインパクトのある最高級のトレインです。そしてそのトレインは多分すぐトレインコントロールが掛かり入山禁止、次の重要な試合に備えることになります。あとあと合宿で行けるだろうから今回のエントリーは見送り、という行事過多で学生が言いそうなことも通じない策を打ちます。垂涎のトレイン、走りたければ来なさいと。(そもそもトレインコントロールの考えは中央がそれ位責任をもって、トレインの質から管理すべき)

最後に、全日本大会が崩壊しかけている中、「インカレだけが今の果実をずっと食べていけることは無い」ということを、もう一度学生諸君に説明しておきます。インカレ中心の世界しか見えていない君達には判りにくいことでしょうか、果実には枝があります。根があります。根がなければ果実は成りません。そしてその根は学生発祥の根、それ以外の根とは分かれています。トレイン・地図・渉外・人・組織、長年かけて培ってきた、時に失敗しその都度色々学んできた、そういう財産こそが根です。ところが全日本・JOA の根や枝は、今折れかけ始めている。そんな中で、インカレの果実だけは来年も再来年も収穫できる、そんなことは無いということです。自分の会社のことをいうのも何ですが、オリエンテリング専用のハウスまで作って、やっとな経営的にもリスク回避というところまでこぎつけたわが社、学生に心地いいことだけ言って経営していても、自分の残り人生位は十分やっとないけるだろう、という状態にまでは今なっています。そんな安住の地から、こんなリスク承知で(しかも無償)、批判の方が多いようなことをなぜ言うのか? そこには自分の家族の子孫を残す遺伝子からの行動と同様、プロ事業者の後世存続願望の遺伝子が働いているのだと思います。レゾンデートルからの行動なのです。

終わり、お読みいただきありがとうございました。

意見は、できれば直接お寄せ下さい。